



第95回 鳥取県中央メーデー大会 報告

メーデーローガン

連帯の力で平和と人権を守り

誰もが安心して暮らせる新たなステージへ!

被災地の復旧・復興に向けて

みんなで支え合い・助け合おう!



▲主催者あいさつ
(山口実行委員長)

4月27日(土)、県内3会場に約2,600人が集い、「第95回鳥取県メーデー大会」を盛大に開催しました。今回、東部地協会場が鳥取県中央メーデー大会となり、鳥取市民会館「大ホール」に約900人の働く仲間・家族が結集し、労働者の団結と要求を地域にアピールしました。

オープニングイベントとして、「スタジオフレア」によるダンスチーム(6チーム)が出演し、子どもたちのキラキラのダンスで会場を盛り上げて頂きました。



▲オープニングイベント「スタジオフレア」ダンス

続く式典では、三浦国民運動局長の「開会宣言」ののち、主催者を代表して連合鳥取山口樹メーデー実行委員長(会長)より「2024年春闘は、中間集計で昨年を大きく上回る過去最高額の賃上げ額となっている。賃上げムードを継続させ、県内23万人の雇用労働者へ広げていこう。」と支援と協力をお願いを述べられました。

続いて来賓を代表して、鳥取県亀井一賀副知事、鳥取労働局平川雅浩局長、鳥取市深澤義彦市長、立憲民主党尾崎かおる政調会長の4名から連帯のあいさつを頂きました。

その後、お楽しみ抽選会では、会長賞「USJ1.5デイパスポート+ペア宿泊券」10万円相当が、まさかの再抽選となり大盛り上がりとなりました。プラカードコンクールは8単組から9作品が出展され、「LIMNO労働組合」が最優秀賞に選ばれましたが、どれも素晴らしい作品でした。メーデーローガンの確認、メーデー宣言の採択を行い、最後に連合鳥取山口会長の「団結がんばろう」で式典を終えました。その後、デモ行進で鳥取市民会館から若桜街道を通り鳥取駅前の花時計までシュプレヒコールを上げて地域にアピールしました。

今回の鳥取県中央メーデー大会では、能登半島被災地支援カンパの取り組みを行い、カンパして頂いた方に「能登半島支援ステッカー」を配布させて頂きました。物品販売コーナーでは、「白バラ商事労組」と「いなば農協労組」に協力して頂き、白バラ商品やイチゴなどを格安で販売させて頂きました。予想以上に大好評で開会までにすべて完売しました。今回のメーデー大会にご協力して下さった全てのみなさまに感謝申し上げます。



▲来賓あいさつ
(亀井県副知事) (平川労働局長) (深澤市長) (尾崎政調会長)



▲団結がんばろう

プラカードコンクール出展作品



最優秀賞 (LIMNO労組)



優秀賞 (全水道鳥取支部)



優秀賞 (プロテリアルフェライト電子労組)



優秀賞 (県教組東部支部)



優秀賞 (大鳥機工労組)



(JR西労組)



(支払基金労組)



(鳥取ガス労組)

特別賞(5年連続出展)

お楽しみ抽選会の様子



“会長賞”

“議長賞3本”

能登半島地震カンパ&仲間(産別)の商品販売



能登半島地震カンパ箱

行進の様子



“シュプレヒコール!”

“行進お疲れさまでした!”



フードドライブ

今年もたくさんのご協力ありがとうございました☆

メーデー献血